

8月3日(月)

私たちの貧しさと神の備え

聖書朗読 ヨハネの福音書 21:1~14

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。 ヨハネ 15:5

七人の使徒たちは一晩中、漁をしていましたが、一匹もとれませんでした。夜明けに岸边から声がしました。「友よ、魚がありませんね。」彼らは「はい。ありません。」と答えました。その声は「船の右側に網をおろしなさい。そうすればとれます。」と言い、彼らがその通りにすると、153匹の大きな魚がとれたのでした。

イエス様は、網が空っぽの時も、満杯の時も、同じように湖を支配しておられました。イエス様は私たちの虚しさも豊かさも支配しておられます。神様の備えに畏敬の念を抱く前に、私たちは自身の貧しさを正直に認めなければいけません。

神様の恵みがなければ、私たちは神様から与えられたことさえ行うことができません。私たちは話すことも、歌うことも、書くことも、導くことも、その他どんなことも神様と離れてはできないのです。

私たちはまず自らの足りなさを認めてこそ神様の寛容さに感謝できるのです。

讃美歌 525 めぐみふかき 主のほか

祈り 主よ、私が弱いときも強いときも、あなたに頼ることを教えてください。虚しさを満ち、あなたの栄光によって、あなたの備えが満ち溢れますように。イエス様の御名によって、アーメン。



テキサス州 ヒューストン / ジョー・バーネット

[illegible]

今日の力

[illegible]

2026年8月3日 ~ 8月9日

翻訳 相坂 純子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

8月4日(火)

次のパット

聖書朗読 ヨハネの福音書 21:15~25

イエスはペテロに言われた。「わたしの来るまで彼が生きながらえるのをわたしが望むとしても、それがあなたに何のかかわりがありますか。あなたは、わたしに従いなさい。」
ヨハネ 21:22

私の孫は高校のゴルフ部でプレイし、その後大学でも続けました。私たちはニューメキシコ州やテキサス州で彼の試合を観戦する機会に恵まれ、それは祖父母としてかけがえのない思い出になりました。ゴルフは技術も必要ですが、精神面が大きく試合に影響します。悪いスイングやパットの失敗が簡単に落ち込みや自己批判につながる場合があります。そんな時、私は静かに彼にこう言いました、「次のドライブ、次のパットだ。」つまり、前の失敗にとらわれず、今に集中し、前に進みなさいということです。

ペテロは後悔ということをよく知っていました。彼はイエス様を否定した後、主が振り返って自分を見つめたことに気が付きました。それは彼の心を打ち砕きました。しかし、福音の奇跡は、イエス様はペテロをその失敗の中に置き去りにはされなかったということです。主はペテロを追い求め、立ち直らせ、再び「私に従いなさい」と呼びかけられました。

私たちにもそのような励ましがが必要です。私たちもつまずき失敗します。しかし、救い主は私たちを見捨てることはありません。主は私たちを立ち上がらせ、こうおっしゃいます。「その失敗から学んで、さあ、わたしとともに歩もう。」

私たちがキリストに従うのは自分が完全だからではありません。私たちが従うのは、主が完全で、私たちをあらゆる失敗から新たな始まりへと導かれる強いお方だからです。

聖歌 590 すくいぬしイエスと

祈り お父様。私たちが倒れた時、引き上げてくださりありがとうございます。再び立ち上がり、新たな信頼をもってあなたに従う勇気をお与えください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

ニューメキシコ州 カールスバッド / マイケル J・ヴァロー

8月5日(水)

最後に去る者

聖書朗読 使徒の働き 2:42~47

そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。
使徒 2:46~47

私はたいていどの礼拝の後でも最後に教会を出ます。私が若かった頃、家族は残って、信仰について疑問のある人と話していました。私たちは皆お互いを必要としていたのです。

夫のティムと私がアフリカのギリヤマ族*のもとへ宣教に行った際、私たちは教会とは丸一日いるところなのだと学びました。(*編注:ケニアの沿岸内陸部を主な居住地とする部族の一つ)ギリヤマの人たちは喜びに満ちて賛美し、長い説教や教えを聞き、食事を準備して一緒に食べました。子供たちは遊び、膝を擦りむき、女の人たちと一緒に地面に座って食事をしました。男の人たちは家でひとつのテーブルを囲んで食事をしました。家族は互いに話したり笑ったりして過ごします。私たちは彼らがどういう人たちかを知り、彼らもまた私たちがどのような者かわかってきました。教会での一日は人生と愛に満ちた長い一日でした。決して単調なものではなく、ワクワクするものでした。

それは私に使徒の働き2章の教会についての箇所を思い起こさせます。『信者となった者たちはみないっしょにいて、…喜びと真心をもって食事をともにし、…神を賛美し』ていました。

教会の建物を最後に出る者となる時、愛する人たちとの別れを惜しみ、もう少しだけ笑い涙を分かち合いたいという気持ちを思い起こさせてくれます。

聖歌 638 みくににすまいを

祈り 主よ、あなたが教会に与えてくださった多くの素晴らしい恵みに感謝します。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テキサス州 ラボック / レベッカ・タリー

8月6日(木)

恵みの確認

聖書朗読 ローマ人への手紙 2:1~11

わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くして下さったことを何一つ忘れるな。
詩篇 103:1~2

私の妻は給与・福利厚生担当として地方自治体で働いています。彼女の仕事の一つは、被雇用者が保険を見直し、保険内容が彼らの必要を満たしているかを確認することです。子供が生まれたら、どのような支援を受けられるのか。手術や事故の後、どのような補償を受けられるのか。被雇用者が転職した場合、家族補償はどのような影響を受けるか。被雇用者は健康で日々働いているうちは、実際に補償が必要になる時まで、どのような補償があるか知らないものです。

信仰をもつ私たちも立ち止まって、寛大な主が与えてくださっている数々の恵みについて考えることが大切です。父なる神様が与えてくださったあらゆる恵みについて考えるのに、危機に直面するのを待つ必要はありません。私たちはキリストにあっていただく、物質的恵み、人間関係、霊的祝福を喜びをもって思い出すことができます。そのような恵みを心に留めるとき、私たちは感動し、主の御名を賛美し、他の人と祝福を分かち合うようになるのです。(1テモテ 6:17~19)

聖歌 604 のぞみも消えゆくまでに

祈り 親愛なる主よ。忙しいあまりキリストによっていただいた祝福と恵みに気が付かないようなことがないようにしてください。主の御名によってお祈りします。アーメン。



テネシー州 グリーンフィールド / ウィル・ノリッド

8月7日(金)

神は最善を望む

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:18~30

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ——それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。
エレミア 29:11

「聖書にはすべてのことが働いて最善となると書いてあります」または「何が起ころうとも良いことにつながるものです」と言う人たちがいます。しかし、愛する人を亡くしたばかりの人、火事で家を失った人、仕事を失った人、または命にかかわるような病気を宣告された人にそのような言葉を言えるでしょうか。それは信仰心から言っているというよりは、むしろ運命論的です。それは神様の答えではありません。パウロはこう言いました。『神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。』(ローマ 8:28)

パウロは地上で私たちに起こるすべての事が益となるとは言っていません。悪いことが起きることを否定しているわけではありません。もしあなたが最近人生の困難に直面したのなら、誰もあなたに「神様はあなたを愛していて、あなたの益となるためにこの出来事を起こされたのです。」などと言ってほしくはありません。むしろ誰かが「神様はあなたを愛しています。神様は、人生で最も辛い経験からでさえ、何か良いものを作り出すことができになります。」とってくれるよう願います。この世の人生の中では限りませんが、たとえ次の世であっても、神様はご自分の子供たちのためには、すべてのことを働かせて益としてくださいます。

讃美歌第二編 せかいののぞみなる主よ

祈り 親愛なる主よ、あなたが私たちの人生に対してご計画を立ててくださっていること、そしてそのご計画の中ですべてのことを働かせて益としてくださるという希望を持ち続けることができますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テネシー州 ヘンダーソンビル / セラーズ S・クレイン・ジュニア

8月8日(土)

神は良いことをされる

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:26~29

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8:28

日本には“金継ぎ”という伝統的な陶芸技法があります。これは割れた陶器を修復する技術です。器は完ぺきにつくられ、壊れるまでは完全な状態でした。割れてしまうと、職人たちが溶かした金や銀、またプラチナを使ってつなぎ合わせるまで使い物になりません。修復された器が元の器より価値があるものになることもあります。そこには全く新しい美しさと、全く新しいデザインがあるのです。

もし私たちが神様に委ねるなら、神様は私たちの苦しみからも良いものを作り出してください。しかし、私たちが良いと思うことは、神様のお考えと同じでしょうか。ここで言われている良いこととは『御子のかたちと同じ姿に』なることです。私たちが成長してイエス様と同じようになるための助けとなるものは、たとえ苦しみでも益となるのです。受け入れるのは難しいですね！

私たちの傷跡でさえ、神様の癒しを示す美しいものになることがあります。その傷跡は私たちを、私たちのために傷を負われたイエス様に、より似た者としてくれるのです。あなたが今苦しみの中にいないことを願いますが、もし苦しんでいらっしゃるなら、神様はあなたの試練を使ってあなたを新しく造り変え、イエス様により似た者としてくださると確信してください。

讃美歌第二編 98 み神のみむねは

祈り 主よ、私の心を絶えず新しく造り変えてくださり、私の傷跡をもあなたのご栄光に用いてくださることに感謝いたします。あなたのお力によって、今苦しみの中にいる全ての人々に希望を与えてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テキサス州 ラボック / ロビン・レイン

8月9日(日)

友なるイエス

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 1:4~9

滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。

箴言 18:24

パウロはコリントのクリスチャンたちを愛していました。彼らのことをよく理解し、近況を気にかけ、日々の祈りに覚えていました。『私は、キリスト・イエスによってあなたがたに与えられた神の恵みのゆえに、あなたがたのことをいつも神に感謝しています。』(1コリント 1:4)

あなたはどんな友達のためによく祈りますか。悲しみの時、共に涙を流し、喜びが訪れた時、共に笑う友達はだれですか。あなたはその人たちの幸福を心から願っています。そのような友達は私たちをより深く、より霊的に理解してくれるため、血の繋がった家族以上に親しく感じられることが度々あります。善良で誠実な友達は、あなたが転職して離れる時、一番恋しくなる存在です。彼らの代わりはいないので、電話やSNS(交流サイト)を通して繋がります。そして、「自分がどんなに素晴らしい友人を持っていたかわかっていなかった」と言うかもしれません。

善良で誠実な友達は私にとって何ものにも勝るものです。イエス様は私たちを友と呼び、私たちを救うためにご自分のいのちをお捨てになりました。(1ヨハネ 3:16) イエス様は全ての友に勝る友です。決して私たちから去ることはありません。いつも私たちの叫びを聞いてくださり、今も私たちと共にいてくださいます。

神との友情に次いで、人との友情こそが、この世で最も素晴らしい宝です

— シャーウッド・ワート *

(*編注:アメリカ空軍の従軍牧師。1911-2008)

讃美歌 312 いつくしみふかき

祈り 父なる神様、一緒にいる時、あなたに近づけてくれる友人という恵みに感謝いたします。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

フロリダ州 タバレス / ジーン・ニュートン